因

五年

画数 6
筆順 ⺡ ⺡ 因 因
オン イン
クン よ＝る

成り立ち

人がベッドの上に、両手両足を広げて寝ているすがたを表した字です。

両手両足を広げているのは安心して寝ていることを表しています。安心して寝ていられるのは、〝頼り〟にできるものがあるからであって、それで、〝よりどころ〟という意味を表した字です。〝よりどころ〟という意味や、単に〝よる〟という使い方をします。

「そのようになる根本的な〝よりどころ〟」のことを〝原因〟と言いますが、この〝原因〟という意味に使われることが多くあります。例要因、勝因。

また、「古くからの」という意味に使われることもあります。例因習、因襲。

使い方

▽同じ時間勉強しても、集中力の度合いに因り、効果に大変なちがいがあります。

▽友だちのお父さんのご好意に因り、夏休みの一週間を海で楽しむことができました。

▽成功の原因は、努力の一語につきます。

熟語例

▽原因（どんなできごとでも、そのようになるには、なるだけの理由がいくつか考えられます。その理由の中で一番〝大本〟となる〝よりどころ〟のこと。原には〝大本〟という意味があります。）

▽因果（原因と結果。くだもの（果）ができる（結）ためには、種（因）があるように、どんなできごとでも原因がある、ということです。）

▽要因（主要な原因。主な原因）

▽勝因（勝った原因。対「敗因」）

▽因習（古くからの習わし。特に、悪い習わし）

▽因襲（古いしきたりやきまりを守り、それを受けつぐこと。襲は〝うけつぐ〟こと。また、〝因習〟の意味にも使われます。）

永

五年

画数 5
筆順 丶 冫 冫 永 永
オン エイ
クン ながー＝い

成り立ち

二つの川が合わさって、一つの川になって流れるところを表した字です。

川は流れて行く先ざきで、ほかの川と合わさって、水かさをまし、どこまでも流れて行き、絶えることがありません。川が〝ながく〟続くことを表した字です。〝ながい〟という意味に使われます。例永続、永日。

〝長い〟が空間について使われるのに対し、〝永い〟は時間について使います。

また、〝限りがない（とこしえ）〟という意味に使われます。例永遠、永久、永住、永代。

使い方

▽遠い町に引っこしすることになった友だちがあいさつに来て、「永い間仲よくしてくれてありがとう。君のこと永久にわすれないよ」と言った時、ぼくは思わずなみだがこぼれました。

熟語例

▽永続（永く続くこと。例お父さんは永続勤務で、会社からひょうしょうされました。）

▽永日（永い日ということで、春の、のどかな一日のことを言います。）

▽永久（永く久しいという意味で、限りなく続く時間のことを言います。〝いつまでも〟ということ。）

▽永遠（永く遠い先という意味で、〝将来いついつまでも〟ということ。〝永久〟と同じ意味です。）

▽永住（永久に住むこと。その土地に死ぬまで住むという意味です。例おじさんはアメリカに永住することになりました。）

▽永代（永い代にわたって、という意味。〝永世〟とも言います。〝永久〟〝永遠〟と同じ意味です。）